

ストップ！ プルサーマル …… 高速増殖炉でもプルサーマルでも プルトニウム利用にNOを

《 プルサーマルをめぐる動き 》

- ◆1960～80年代 プルサーマルは建前だけ（あくまでも高速増殖炉をめざす）
- ◆1990年代 冷戦終結後「余剰プルトニウムを持たない」国際公約、需給量と利用計画で辻合わせ
- ◆1995年 高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ火災事故
→ プルトニウム需給計画見直し → プルサーマル実施へ動き出す
- ◆1999年～ 計画は頓挫
1999年 MOX燃料製造データ捏造発覚、関西電力・高浜原発のプルサーマル計画延期
2001年 刈羽村住民投票「プルサーマル反対」過半数、東京電力MOX燃料装荷を断念
2002年 東京電力、欠陥隠し発覚 → 福島・新潟両県知事プルサーマル事前了解を白紙撤回
- ◆2004年～ 再び実施へ動き出す
経済産業省、プルサーマル同意自治体に電源交付金大幅増の新制度等、同意を督促する交付金も新設
- ◆2009～10年 六ヶ所再処理工場と「もんじゅ」がともに立ち往生するなかで、強行されるプルサーマル計画

使用済みMOX燃料の処理処分等の問題はすべて先送りして見切り発車

- *すでに開始 九州電力・玄海3号機（臨界09年11月）、四国電力・伊方3号機（臨界10年3月）、東京電力・福島第一3号機（臨界10年9月）
- *MOX燃料搬入済み
関西電力・高浜3、4号（12月初旬にも予定されているMOX装荷に対して、緊急要望行動に取り組み）
中部電力・浜岡4号（年明けにもMOX装荷？ しかし5号機の耐震問題、3号・4号機では点検もれ問題が）
東京電力・柏崎刈羽3号（01年に搬入後、事前了解撤回。07年の中越沖地震でいまだに停止中）
- *地元自治体了解済み 北海道・泊3号（09年3月）、中国・島根2号（09年3月）、東北・女川3号（10年3月）
- *建設中の電源開発・大間原発 世界的に例がないMOX専用炉で 100%MOX燃料を使用する計画

☆10年7～8月 玄海では「運転差止め」、大間では「設置許可取り消し」、「工事差止め」等を求めて提訴

《 北陸電力のプルサーマル計画 》

- *プルサーマルどころではなかった北陸電力
- ・2006年3月に金沢地裁が2号機の運転差止め判決
- ・運転開始したばかりの2号機でタービン損傷事故
- ・2007年3月、1号機の臨界事故（99年）隠蔽発覚
その直後に能登半島地震（M7.9）発生

*2010年6月28日、石川県と志賀町に1号機でのプルサーマル実施事前了解願いの提出。その4日前に発生した1号機での制御棒誤挿入事故を隠したままの申入れ。同じ1号機で8月には制御棒抜け落ち事故発生、11月に保安院が安全委員会に報告するまで公表されず。臨界事故で明らかになった沸騰水型原発制御棒の構造的欠陥等、プルサーマル以前の問題が山積したまま、強行されようとしているプルサーマル。

*プルサーマルはウラン燃料のリサイクル？！

『プルサーマルのエネルギー政策上の必要について』

■原子力発電は、エネルギー安定供給、地球温暖化防止に優れた電源 ■プルサーマルを含む核燃料サイクルはウラン燃料のリサイクル ■核燃料サイクルは一步一步前進、今後とも国としてもしっかり推進

（10年7月、県の原子力環境安全管理協議会における



資源エネルギー庁の説明資料より)

(ストップ! プルサーマル・北陸ネットワーク 中垣たか子)